

情報連絡員報告総括表(令和7年8月期)  
富山県中小企業団体中央会

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働度	雇用人員	業界の景況	
食 料 品	醤油・味噌業	→	→	↗	→	↘	→	→	→	→	・令和7年産加工用米の販売提示価格が前年と比べて概ね2倍となっている。原料価格の高騰による収支の悪化は、値上げ圧力となり、味噌の店頭価格の上昇は消費不振に繋がる可能性がある。原料米の安定供給が最重要課題である。
	パン製造業	↘	→	→	→	↘	↘	↘	→	↘	・原材料価格の値上がりが続いている。 ・猛暑の影響で売上が減少している。
	処理牛乳・乳飲料製造業	→	↘	↗	→	→	→	↘	→	↘	・8月1日の値上げ後に需要が多少減少しているが、売上高は前年とほぼ同等である。
織 綿 工 業	ニット製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	↘	・受注は不安定な状況が続く見込みで、見通しは良くない。 ・米国関税措置の影響が懸念されるが、現段階では不明である。 ・人手不足が深刻化している。
	絹人織織物業	↗	→	↗	→	→	→	→	→	→	・原材料や資材が値上がりしているため、織物価格の改定をお願いして収益の維持に苦慮しているところだが、最低賃金の大幅な上昇が決定したこと、更なる原材料や資材の値上げが予想される。また、人件費も上昇するため、価格改定を再度得意先にお願いすることになるが、要望に応じてもらえるか不安である。
	綿・スフ織物業	↘	→	↘	→	↘	↘	↘	↘	↘	・事業を廃止した組合員の影響もあり、収益面でかなり悪化している。
木 材・木 製 品	一般製材業	→	→	→	→	↘	→	→	→	→	・新設住宅着工戸数の前年同月比は、4ヵ月連続で減少し、中小工務店を中心に厳しい景況となっている。原因として、改正建築基準法施行前の集中着工による反動減や、施行後は建築確認事務の遅れの影響が続いていることにあると考えられる。 ・ロシア材取扱事業者については、半製品の価格は横ばいから値上げの動きがあるも安定的に入荷している。しかしながら、住宅着工戸数の減少に加え、外材から国产材利用に転換する動きが進み非常に厳しい状況にある。 ・プレカット工場の稼働率は、住宅着工戸数減で中小工務店からの注文数が減り、低下している。 ・県産材(民間素材生産事業者)の出材状況は、酷暑による生産量減や事業地の奥地化などで、出材量は増えない状況にある。
	その他の木製品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし

印 刷	印 刷 業	↖ → → → ↘ → ↘ ↘ ↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上、収益、景況は変わらず減少、悪化が続いている。現有の顧客から縮小する受注を維持確保することがやっとである。</li> <li>・紙離れがますます進む中、新たな顧客や新領域を見つけることは極めて厳しく、印刷の枠を超えた新たな商材や事業の構築が今後の存続の大きな課題となっている。</li> </ul>
化 学 ・ ゴ ム	医薬品製造業	→ → → → → → → → →	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保に苦労している企業は多い。外部派遣の人材では長続きせず、また、人件費を上げないと人も来ない。</li> </ul>
窯業・土石製品	生コンクリート 製 造 業	→ → → → → → → → →	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県全体の生コンクリート出荷数量は、前年同月比118.2%と前月に引き続き前年実績を上回っている。</li> <li>・県内いずれの地区においても前年実績を上回る結果となっている。</li> </ul>
	コンクリート製品 製 造 業	↖ → ↗ → ↘ → ↘ ↘ ↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>
	骨材・石工品等 製 造 業	→ → → → ↘ → → → →	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料費、修繕費など骨材製造コストの上昇により事業継続の危うい状況にあるため、令和8年度骨材価格について値上げを決定し、各得意先へ説明とお願いに回っている。</li> <li>・骨材需要は、堅調に推移している。</li> </ul>

項目		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
業種											
鉄鋼・金属	銑鉄鋳物製造業	↖	→	→	→	↖	↖	↖	→	↖	・産業機械及び建設機械部品の受注は、昨年並みで低迷している。 ・今後、米国関税措置による影響で、落ち込みが懸念される。
	銅・同合金鋳物製造業	↖	→	→	↖	↖	→	↖	→	↖	・特になし。
	アルミニウム製品製造業	↖	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
	建築用金属製品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・機械系の人員(高卒、高専卒、大卒)の採用が極めて難しく、頭を悩ませている組合員企業が複数ある。 ・共同給電、共同給水関係の設備の経年劣化が目立つており、将来的な対策を検討する時期に来ている。
	めっき加工業	↖	→	→	→	↖	→	→	↖	→	・ある取引先の業況回復が遅れていることに伴って、めっき加工製品の持ち込みが減少しているため、売上高の前年同月比は減少している。 ・減収に加えて、資材価格が上がっていることから、収益状況も悪化している。
	金属工作機械製造業	↗	↗	→	→	↗	→	→	↖	→	・受注状況及び売上ともに、前年同月と比べて増加している。 ・米国関税措置による大きな影響は今のところないようである。
一般機器	金属加工機械製造業	↖	→	→	→	↖	↖	↖	→	↖	・8月の終わりに1件の組合員企業が破産告知書を掲示している。
	非金属用金型製造業	↖	→	→	→	↖	→	↖	→	↖	・リーマンショック以上に需要は低迷し、その期間も長期に渡り、回復どころか更なる落ち込みも否定できない経営環境にある。先々に向けての戦略と決断が求められる。
電気機器	電子部品・デバイス・電子回路製造業	↗	↗	↗	→	↗	→	↗	↗	→	・前年同月と比較して受注が増加している。既存製品の在庫過多解消に加えて、新規製品の流通増加が受注回復の主な要因と考えられる。
輸送機器	自動車部分品・附属品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
その他の製造業	漆器製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・猛暑の影響で人出に影響はあったものの、県外からの観光客、旅行者が増えている。 ・秋に向けて、イベントの準備を進めている。

業種		項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
卸売業	セメント卸売業		↓	→	→	→	→	→	→	→	→	・袋セメント取り扱い数量について、前月は落ち込んでいたが、8月は120%と挽回している。しかしながら、異常気象により工事の進捗が遅延ぎみで、発注も遅延ぎみである。
	非鉄金属製品卸売業		↓	↗	↗	↘	↘	↘	→	→	→	・業況について、盆明けからようやく年末商戦に向けた動きが出始めている。 ・組合員企業の工場が8月初旬の大雨で浸水し、鋳造回数を1回無駄にしている。一昨年にも大雨被害があつたため、対策に乗り出さなければならない。
小売業	鮮魚小売業		↓	→	↓	→	↓	→	→	→	→	・売上が伸びず、全体としては依然として景気が悪く、悪化傾向である。
	食肉小売業		↗	→	↗	→	↘	→	→	→	→	・お盆中は、帰省した家族へのおもてなし商品が好調だったが、猛暑により屋外でのバーベキュー関連の需要が減少している。 ・豚肉、鶏肉の相場が過去最高値になっており、仕入れ価格の上昇が全体の利益を圧迫している。
小売業	野菜・果実小売業		↓	→	→	→	→	→	→	→	→	・8月の富山卸売市場は、前年同月比で数量86%、単価104%、売上89%となっている。 ・組合員全体の売上については、前年同月比83%となっている。
	家庭用電気機械器具小売業		↓	→	↗	→	↘	→	→	→	→	・特になし。
小売業	自動車小売業		→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
	ガソリンステーション		↓	→	→	↓	↓	↓	→	↓	→	・カーボンニュートラルの進展に伴いガソリン等の需要減が見込まれることや、大手流通業者等による廉売激化、人材不足やドライバーの時間外規制など、SSの経営環境は依然として厳しい。 ・物価高による利用者の節約志向が響き、ガソリン販売量の減少は続いている。引き続き、需要の回復感は弱い。
小売業	スポーツ用品小売業		→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
	ショッピングセンター		→	→	↗	→	↘	→	→	→	→	・仕入れなどのコストの高騰に加えて、10月からの最低賃金改定により、より厳しい状況になる見込みである。

項目		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
業種											
商 店 街	商 店 街	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・例年この時期は帰省客が訪れ、秋に向けた買い物で賑わうが、酷暑と買い控え傾向によるものなのか、特に衣料品の消費が鈍く感じられる。
	商 店 街	↖	↗	↗	↖	↖	↖	→	→	↖	・物販はお盆期間中は少し動いたが、連日の猛暑の影響で売上が前年同月を大きく下回っている
サ ー ビ ス 業	情報サービス業	→		→	→	→	→		→	→	・特になし。
	クリーニング業	→		→	↖	↖	↖		→	↖	・特になし。
	飲 食 業	↗		↗	→	↗	→		→	↗	・お盆期間中は終日忙しく、前年同月に比べて売上が14%増加している。
	建 築 設 計 業	→		→	→	→	→		→	→	・特になし。
	自動車整備業	→		→	→	→	→		→	→	・8月の自動車新車新規登録・届出台数(登録車と軽自動車の合計)は、前年同月比2ヵ月連続の減少となっている。 ・新車販売については、消費の弱さが新車販売市場でも浮き彫りになっている。秋にかけて新型車が多くリリースされ回復する可能性は十分にあるものの、物価上昇が続くと予想されることから、予断を許さない状況にある。更に、米国関税措置の影響も不安要素となっている。 ・自動車整備事業者は、各種自動車部品、油脂類、機械工具類等全てのものが価格上昇しており、自社努力では対応しきれず苦慮している。 ・また、先進安全技術に係る特定整備制度の創設、自動車検査証の電子化、OBDを活用した自動車検査制度など、多くの制度改正に対応することを求められ、更に、新技術への対応、生産性向上、健全な経営の徹底、少子高齢化社会における自動車整備士の人才不足等の課題も抱えている。こうした課題に対応できない事業者は、自社の取扱い車種が加速度的に減少していく状況にある。
建 設 業	鉄骨・鉄筋工事業	↖		↖	→	↖	↖		→	↖	・大手鉄骨加工業者の中にも、工期のズレや計画の中止・延期により、工場稼働率が低下している業者がある。中小鉄骨加工業者についても先行きが見えない状況にある。この様な状況下でも前回の不況時より鉄骨加工業者の倒産が非常に少ないのは、各社採算を重視し安値受注を回避しているためと思われる。
	一般土木建築工事業	→		→	→	→	→		→	→	・特になし。
	管工事業	→		→	→	→	→		↖	→	・景況に変化はない。 ・意見交換会を開催し、発注者と受注者が共通理解することでより安全で効率よく施工出来るように意思疎通を図っている。 ・現場では、熱中症予防対策に苦慮しながらの施工が続いている。
	電気工事業	↗		↗	↗	↗	→		→	↗	・公共事業、民間設備投資は順調だが、住宅着工件数は減少が続いている。しかしながら、酷暑によるエアコン等のリフォームが多く、状況は全体的に良好である。
運 輸 業	道 路 貨 物 業	→		→	→	→	→		→	→	・特になし。
	道 路 貨 物 業	→		→	→	→	→		→	→	・燃料価格について、前年同月比で+3.7円/ℓ高くなっている。 ・物量は、小口が前年同月比96.6%と下回り、貸切も同様である。